

newEMAS – タブレット検針システム

EMAS : Energy Management Assist System

実績処理の負荷を軽減し、時間の短縮を行なえます。

投資家へのディスクロージャーを早めるため、基本となる各事業場での実績データの集約を前倒しする事が求められています。時間がかかるひとつの要素が事業場全体に設置されている積算計を巡回して検針データを記録し、それをパソコンなどに手入力する作業です。検針作業に当システムを用いる事により、実績処理全体の時間短縮が可能です。

【巡回検針】

1. 現状



記録紙に検針値記録

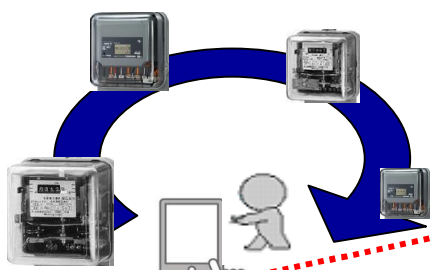
記録ミスが
有った場合、
現場再検針。

【工務室】



1. 検針値をパソコンへ入力
2. パソコンで使用量計算
使用量 = (今回検針値 - 前回検針値) × 積算計倍率
3. 異常値の警告・確認
4. 使用量を用いた以降の実績処理

2. タブレット検針



1. 検針値をタブレットへ入力
2. タブレットで使用量計算
3. 異常値の警告・確認
(異常の場合、直ちに現場で確認)



1. タブレットのクリーンなデータをパソコンにアップロード
(入力作業なしで時間・ミス軽減)
2. 使用量を用いた以降の実績処理

* 無線LANの環境がある場合、検針による実績処理の時間ミニマム化が可能。



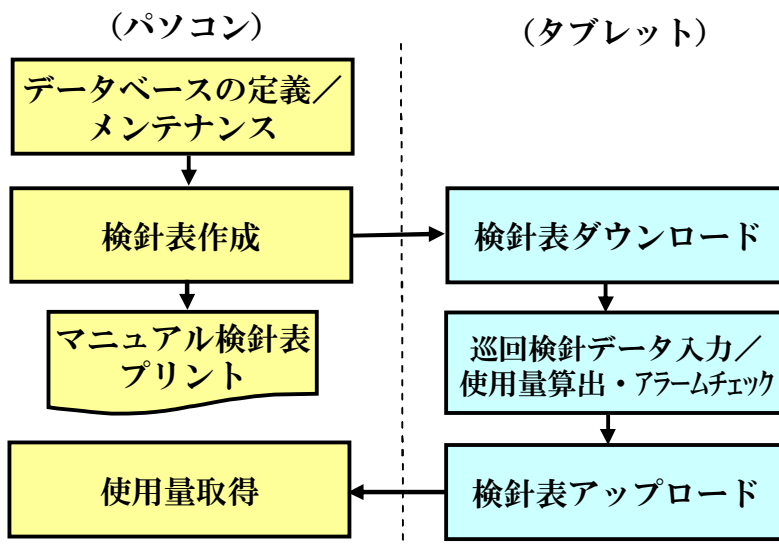
1. 検針値をタブレットへ入力
2. タブレットで使用量計算
3. 異常値の警告・確認
(異常の場合、直ちに現場で確認)
4. クリーンデータをサーバーへ

社内サーバーまたはクラウドサーバー



5. 全積算計の検針作業終了と同時にサーバー側で実績処理を自動的に実行
6. 実績処理結果の確認

*以下の様にタブレット表の作成はパソコンで行い、タブレットへダウンロードします。



機能

- ◆ 使用量 = (今回検針値 - 前回検針値) × 積算計倍率 の計算機能
- ◆ 積算計カウンターの一回転処理機能
- ◆ 使用量のトレンドチェック・アラーム表示機能
(最小値/最大値/対平均値/対前月度/対前年同月/下限/上限)
- ◆ トレンドグラフ表示機能
- ◆ (パソコン側) バックアップ用マニュアル検針表作成機能

画面例

検針場所	第1変電所										
キュービクル/盤											
積算計名称	研究棟1F										
項目1	200V										
項目2											
積算計機番	E1001										
倍率	10										
検針日	カウンター値	電力量	AL	回転	最小	最大	対平均	対前月	対前年	下限	上限
3月1日	499,653	105,000	*		*	*	*				
2月1日	489,152	73,090									
1月1日	478,651	41,091									
12月1日	468,150	9,092									
11月1日	457,649	1,093									
10月1日	455,772	75,110									
9月1日	448,261	84,310									
8月1日	439,830	90,870									
7月1日	430,743	87,620									
6月1日	421,981	84,970									
5月1日	413,484	85,040									
4月1日	404,980	90,680									
3月1日	395,912	87,610									

今回検針値入力セル

アラーム内容表示

カウンター一回転有無表示

動作環境

以下のいずれかの環境で稼働します。

Windows XP 各バージョン (System7 上のものを含む) + Excel 2003、2007
 Windows Vista business SP1 + Excel 2007

本製品についてのお問合せは

新川電機株式会社 システム営業部
 〒730-0048 広島市中区竹屋町8-6
 TEL: 082-247-4218 FAX: 082-242-4570
 URL: <http://shinkawa.co.jp/> E-Mail: emas@shinkawa.co.jp